

令和6年度

東毛地区社会教育関係職員等研修講座

〈期日〉 令和6年10月8日（火）

〈会場〉 洋泉興業大泉町文化むら

東毛地区の生涯学習・社会教育の推進を図るため、社会教育関係職員等に求められる基本的・実践的な知識及び技能の習得を目指し「東毛地区社会教育関係職員等研修講座」を開催しました。今回の内容は、防災研修の第2弾として、避難所運営にかかる講演会とワークショップで、当日は、防災・危機管理主管課の職員等も含め28名の方々に参加していただき有意義な研修講座となりました。

講演 「住民自身による避難所運営について」

講師 群馬大学大学院理工学府 環境創生部門
教授 金井 昌信 氏

講師の金井先生からは、「Unlearn（アンラーン）」（これまでに身につけた思考のクセを取り除く）というキーワードのもと「防災に『唯一絶対の正解』はない！」「命を守るために必要なこと（備え、避難）」など、これからの防災や防災教育の在り方について、また、災害発生時の避難所運営にかかるポイント等を、いくつかの課題と具体的な事例等を交えながらお話いただきました。



ワークショップ「災害対応図上訓練」

ワークショップでは、大きな地震が発生し避難所となった学校や公民館で災害対応の手伝いをするようになった場面を想定し、その対応について考えました。一人一人が付箋紙に自分の考えや意見を書き出し、4名のグループで考えを共有しました。金井先生からは、それぞれの場面での対応のポイントや注意点等の解説があり、臨場感をもって取り組むことができました。



参加者の声 ～アンケートより～

- ・地域の課題を皆で考えること、その一つが防災教育だということがわかりとても参考になりました。
- ・地域と学校が連携して地域防災を考える。何らかの方法で実践したいと思いました。
- ・「防災を通じた人間教育」という考えがとても印象的でした。災害対応図上訓練は想像以上に効果があると感じました。
- ・講演がわかりやすくなりました。防災に「正解がない」は印象的でした。
- ・講義のほか、話し合い活動があったのがよかった。目から鱗の災害対策研修でした。
- ・防災担当者として参加しましたが、凝り固まった思考が少し柔らかくなりました。



〈主催〉 群馬県教育委員会

〈主管〉 東部教育事務所